

第31回 田善顕彰版画展

《田善賞 小学生の部》

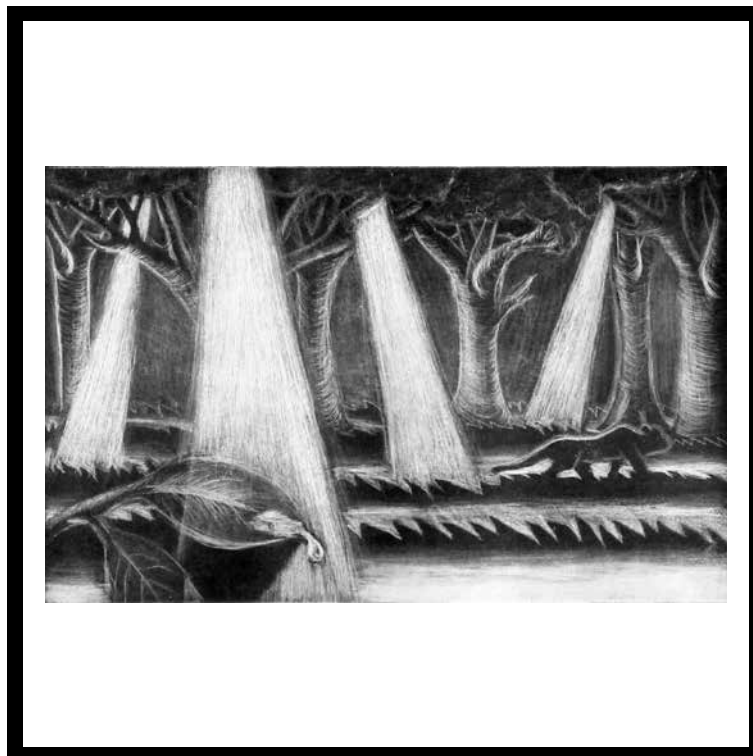


《講評》運動会で体験した感動を木版画の技法を使い表現しています。表情豊かで動きもあり、4年生らしい素直な作品となっています。

「大玉ころがし」

須賀川市立大森小学校 4年 大槻 桃子

《田善賞 中学生の部》



《講評》中学生らしい主題と、田善の銅版画のエッチング技法に近い、細かで複雑なメソチント技法を豊かに駆使した優れた作品です。

「沈黙が鳴いている」

須賀川市立第二中学校 2年 薄井 梨咲

第31回 田善顕彰版画展

《最優秀賞 小学生の部》



「いっしょにがんばろう」

須賀川市立第二小学校 5年 伊藤 幹太

《講評》小学校高学年の教室で友達とのやりとりの様子がとても新鮮に木版画の技法でよく表現されています。黒と白のバランスもよく、彫刻刀の彫り方もとても良くできた優れた作品です。

《最優秀賞 小学生の部》



「位置について」

須賀川市立稲田小学校 6年 古川 渉翔

《講評》一版多色刷りの技法で短距離レースの張りつめた様をよく捉えて表現しています。色彩も良く配色されて無理のない色調で表現されています。奥行のあるまとめ方がとても優れた作品だと思います。

《最優秀賞 中学生の部》



「さざめく稲穂」

須賀川市立小塩江中学校 1年 安田 魁斗

《講評》稲刈りの風景が画面いっぱいに描かれています。手前に大きく配置された稲穂がとても効果的で、さざめく音が聞こえてくるかのような作品です。

《最優秀賞 中学生の部》



「祈り」

須賀川市立西袋中学校 2年 車田 ダイクス

《講評》タイトルの通り、何かを祈る手が木版で描かれています。明暗の強い対比がドラマチックな効果を生み、立体感の表現や彫りの丁寧さも合わせ、とても完成度の高い作品になっています。

第31回 田善顕彰版画展

《優秀賞 小学生の部》



「シャボン玉をしているぼく」
須賀川市立柏城小学校 2年 白河 巧明

《講評》シャボン玉を楽しんでいる様子が巧明さんの表情によく表されています。特にシャボン玉が飛んでいく方向が面白く、工夫した表現となっています。

《優秀賞 小学生の部》



「がんばるぞ！松明だいこ発表」
須賀川市立阿武隈小学校 4年 瀧口 颯人

《講評》一版多色刷り版画の技法で力強い表現をしています。自分が参加していなければこのような表現ができないと思います。色彩も良く表現され一層際立ったものになっています。

《優秀賞 小学生の部》



「くじらぐも」
須賀川市立西袋第一小学校 1年 大平 昊河

《講評》子供たちの上をくじらが雲になって泳いでいるようで夢があって素晴らしい作品です。

《優秀賞 小学生の部》



「あやとり」
須賀川市立第二小学校 1年 矢部 結花

《講評》一生懸命あやとりをしている様子が表現されていて、見ていて楽しくなるような素晴らしい作品です。

第31回 田善顕彰版画展

《優秀賞 小学生の部》



「ゴー !! ゴー !! デカパンレース」
須賀川市立大森小学校 4年 村越 瑛太

《講評》2人で呼吸を合わせ、デカパンをはいてゴールを目指して走っている様子がよく表現された素晴らしい作品です。

《優秀賞 小学生の部》



「ぼくのお気に入り」
須賀川市立稲田小学校 5年 柏原 成希

《講評》お気に入りの物を大事に持っているのがよく表現されています。また、服のしわも実に良く表現され素晴らしい作品です。

《優秀賞 小学生の部》



「くっちまうぞ！」
須賀川市立長沼小学校 1年 菅野 桜愛

《講評》口を大きく開き、鬼のおそろしさが良く表現されていて、これが1年生の作品とは思えない素晴らしい作品です。

《優秀賞 小学生の部》



「読書大好き」
須賀川市立第一小学校 4年 中澤 理人

《講評》静かに読書をしている様子がとてもよく表現されている素晴らしい作品です。

第31回 田善顕彰版画展

《優秀賞 小学生の部》

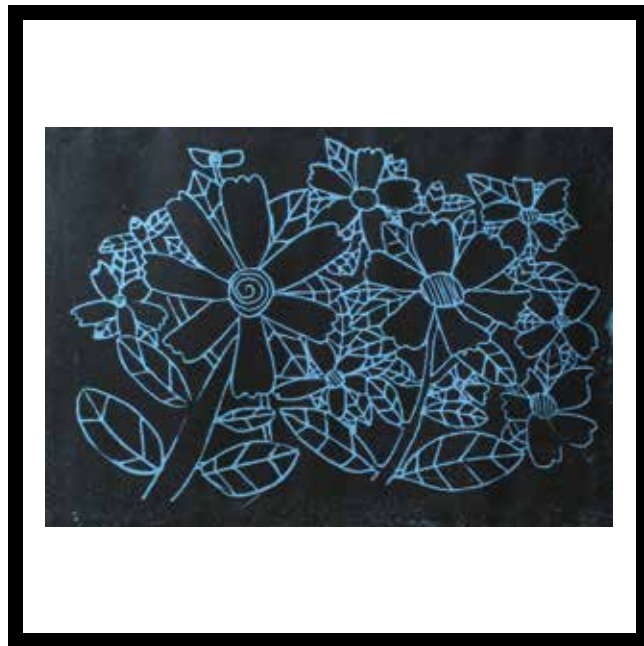


「弟と花火をやったよ」

須賀川市立阿武隈小学校 4年 佐藤 璃音

《講評》お姉ちゃんが弟のために花火をして楽しんでいる様子がよく表現されていて素晴らしい作品です。

《優秀賞 小学生の部》



「私の好きな花」

須賀川支援学校小学部 4年 草野 桜那

《講評》コスモスの花が大好きなのですね。黒い面を活かして、空色で線描きしたデザイン的な清々しい気持ちと、花の優しさがうまく表現できています。

第31回 田善顕彰版画展

《優秀賞 中学生の部》



「カラフルボールが飛びはねて」
須賀川市立長沼中学校 1年 廣田 創大

《講評》抽象的な構成と色彩・線の動きや面積が、今日的な感じに包まれていて、リアリティーに富んだ作品です。

《優秀賞 中学生の部》



「空とぶくつ」
須賀川市立稲田中学校 1年 大賀 彩姫

《講評》空にかかった橋のような道の上で、靴と靴紐を結ぶ手が描かれていますが、上の方が消えており、足と手だけが空中に現れたような、何とも言えない不思議な情景が魅力的な作品です。多色刷り木版による空と雲の描写、手と靴の形の正確さなど、技術的なレベルも高いです。

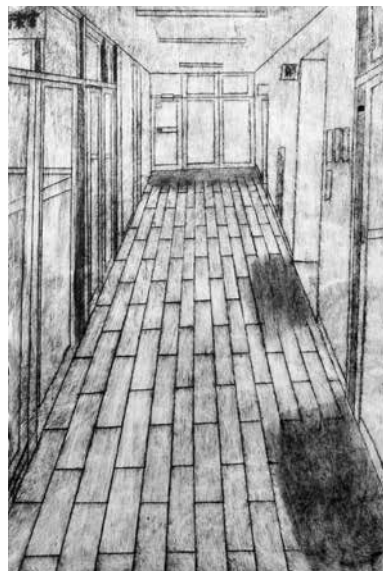
《優秀賞 中学生の部》



「私のスニーカー」
須賀川市立第一中学校 2年 坂内 妃咲

《講評》普段はいているスニーカーがドライポイントでとても丁寧に描き込まれ、作者の愛着が感じられる作品になっています。形のとらえ方も良いです。

《優秀賞 中学生の部》



「僕・私の好きな大東中学校の情景」
須賀川市立大東中学校 2年 近藤 志穂

《講評》学校の廊下の突き当たりの風景が遠近法の構図とドライポイントの技法で描かれています。床板の木目や影が細かく丁寧に表現されており、作者の学校に対する愛着が感じられる良い作品です。

第31回 田善顕彰版画展

《優秀賞 中学生の部》



「孤 高」

須賀川市立岩瀬中学校 2年 古川 穂乃実

《講評》穂乃実さんは観察能力が非常に高いですね。花、葉の色使い、その重なりなど、表現が実に素晴らしい作品です。

《優秀賞 中学生の部》



「一つ一つに心を込めて」

須賀川市立小塩江中学校 1年 折笠 快斗

《講評》熱心の一つのことを力を合わせて作っている様子がとてもよく捉えて表現されています。彫り方の線がとてもきれいに形を整えています。遠近法で奥行が感じられ優れた作品となっています。

《優秀賞 中学生の部》



「決 意」

須賀川市立西袋中学校 2年 樽川 朱音

《講評》中学生らしい繊細な彫刻刀の技法を駆使しながらの描写が、画面いっぱいに力強く美しいリズムで表現されています。